

リアル 断熱リノベ住宅を強化

愛知、岐阜で10戸を販売

東海圏で買取再販・リノベーション事業を手がけるリアル(愛知県名古屋)は、省エネ性能を向上させたリノベ済み中古マンションの販売に力を入れている。

昨年、愛知県名古屋、安城市、岐阜県で全10戸ほど販売した。10戸のうち2戸がエコキュート物件だ。これは、買取再販事業を手がけるインテリックスグループ(東京都渋谷区)が発売する省エネリノベプランドだ。温熱計算をし、断熱性能等級5相当のUA値0.6を満たす「エコキュート」住宅。写真は愛知県名古屋市の物件「エスポア城北」



▲断熱性能等級5相当のUA値0.6を満たす「エコキュート」住宅。写真は愛知県名古屋市の物件「エスポア城北」

断熱窓を施工する。インテリックスグループは断熱リノベのノウハウを提供するフランチャイズ展開を行っている。同社は東海エリアのエコキュート加盟店だ。残り8戸が同社のオリジナルブランド「省エネECO断熱」のリノベ住宅だ。温熱計算はしないが、二重サッシやLED照明など省エネ・断熱につながるアイテムを多く使用している。10戸の住宅全てに「Low-E複

層ガラス」という二重サッシを使用している。「一般的な複層ガラスと比較して、約1.5倍の断熱効果があります」とリアルの実業部チーフマネージャーの箱崎愛寸美氏は話す。



事業部チーフマネージャー 箱崎愛寸美氏

「LED照明、節水型水栓をはじめ、MTG(愛知県名古屋市)の美容ブランド「Refa(リファ)」のシャワーヘッドも10戸共通で採用している。

今年2月現在、エコキュート物件が2戸、省エネECO断熱物件が1戸契約済みとなっている。断熱リノベ事業に力を入れる理由を箱崎氏はこう話す。「東海エリアだけでも競合が多くいます。断熱リノベをやっているマンションはなかなかありません。新しい付加価値を提供していきたくて考えています」

今後については「エコキュートの物件数を増やしていきたいです。まだまだエンドユーザー様に中古マンションの断熱リノベは浸透していません。エコキュートを導入するメリットや環境的な意義を理解してもらえように取り組んでいきたいです」(箱崎氏)